

博士研究員募集（生物物理学及び関連分野）

金沢大学ナノ生命科学研究所（WPI-NanoLSI）の生物物理学グループの安藤研究室では、自ら開発した高速AFM を使ってタンパク質分子の機能動態を可視化することにより機能メカニズムを解明する研究を進めています。精製したタンパク質分子の観察が中心ですが、高次構造体上にある分子の観察も目指しています。高速AFMのバイオ応用研究を展開する一方、高速AFMの更なる高速化に向けた技術開発も進めています。

今回新たにポスドクを募集します。次のいずれかの研究を進めて頂きます。

- ・高速AFMによりタンパク質の機能中の動態を観察し、そのタンパク質の機能メカニズムを探る（タンパク質のハンドリングの経験のあること）

或いは、

- ・高速AFMの技術開発とその技術の実証バイオ研究（何らかの言語によるプログラミングの経験があることが望ましいが、必ずしも必要ない）

いずれの場合でも、AFMの利用経験は必要ありません。新しいことに挑戦する意欲のある方を求めています。

人数：1-2名

資格：博士の学位を有する、或いは、着任までに学位取得見込みの方。

これまでの経験：生化学、分子生物学、生物物理学、或いは、工学のいずれかの分野で研究経験があること。AFM の経験は問いません。

契約更新：年度末までの研究活動などをもとに更新するかどうか判断します。

男女共同参画：女性研究者からの応募を奨励しています。男女共同参画の詳細については下記のURL をご覧下さい。

<http://cdl.w3.kanazawa-u.ac.jp/index.html>

応募締切：2022年11月15日。但し、採用決定次第公募を打ち切ります。

応募書類（自由形式）：①履歴書 ②論文・発表リスト ③主要論文のpdf ファイル ④これま

での研究の概要(A4,1枚程度) ⑤本人について照会可能な方2名の連絡先(メールアドレス、電話番号)を以下の電子メールアドレスに送ってください。日本語でも英語でも構いません。

宛先 : 安藤敏夫、 tando@staff.kanazawa-u.ac.jp

審査方法 : 書類選考をパスしたのちスカイプ、或いは、金沢大学で面接

研究室ホームページ : http://biophys.w3.kanazawa-u.ac.jp/index_J.htm

研究所ホームページ : <https://nanolsi.kanazawa-u.ac.jp/>